

AGC

Your Dreams, Our Challenge

超速硬化ウレタン吹付けシステム

駐車場床防水工法

普通自動車～大型自動車 対応

リムスプレーAD工法

2023年8月版

大型貨物自動車が往来する物流施設



**駐車場の床には、
強靱な防水層が必要です。**



乗用車やカートが行き来する商業施設

大型貨物自動車にも耐える、 強靱な駐車場床防水を実現。

リムスプレーは、超速硬化ウレタン・ウレア樹脂系吹付けシステムのパイオニアとして、常に業界をリードし続けています。材料の硬化が速く、塗膜強度の発現が速いため、吹付け後、次工程までの待機時間を最小限にでき、工期の短縮が図れます。また、JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形認証製品である「V-3000」は、塗膜強度が極めて高く、耐久性に優れたウレタン防水材です。

これらの利点を生かし、駐車場床の防水に特化したリムスプレーAD工法は、車両が数多く走行する店舗などの屋上駐車場のみならず、大型貨物自動車が行き交う物流施設にも対応可能な床防水を実現。大型貨物自動車の走行にも耐える強靱な防水層を形成し、お客様の大切な施設を守ります。

1

大型貨物
自動車に
強い！

超速硬化ウレタン吹付けシステム

駐車場床防水工法

普通自動車～大型自動車 対応

リムスプレー[®]AD工法

荷役作業に
強い！

2

建物の動きに
強い！

3

■車両の種類

| 大型自動車 | 中型自動車 | 準中型自動車 | 普通自動車 |
|-------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------|
| 車両総重量※： 11トン以上 | 車両総重量※： 7.5トン以上、11トン未満 | 車両総重量※： 3.5トン以上、7.5トン未満 | 車両総重量※： 3.5トン未満 |
| 最大積載量： 6.5トン以上 | 最大積載量： 4.5トン以上、6.5トン未満 | 最大積載量： 2トン以上、4.5トン未満 | 最大積載量： 2トン未満 |
| 乗車定員：30人以上 | 乗車定員：11人以上、30人未満 | 乗車定員：11人未満 | 乗車定員：11人未満 |

詳しくは、道路交通法施行規則（昭和三十五年総理府令第六十号）第一章 総則（第二条）をご覧ください。

※車両総重量＝車両重量＋乗車定員数×55kg＋最大積載量



物流施設を往来する大型貨物自動車は車両総重量30トンを超えるものも多く、施設床の防水層は極めて過酷な状況に晒されます。

リムスプレーAD工法は、強靱な耐摩耗性と耐久性を発揮。度重なる大型貨物自動車やフォークリフトの走行、ハンドルの切り返し、すえ切りなどにも耐え、長期にわたって防水機能を保持します。

■テーバー摩耗試験（耐摩耗性）

試験方法：テーバー式摩耗試験（JIS K 7204 準拠）
 試験機：テスター産業株式会社製 テーバー摩耗試験機
 試験体寸法：100mm×100mm（下地：スレート板）
 摩耗輪：H-22
 荷重：1000g
 回転数：1000回

【試験結果】

| 工法名 | 摩耗減量 |
|-----------|-------|
| AD-VV45CR | 0.57g |
| AD-VV35CR | |
| AD-VV30CR | |



車両走行を想定し、防水層のすり減りを摩耗量で確認する試験。

Point!

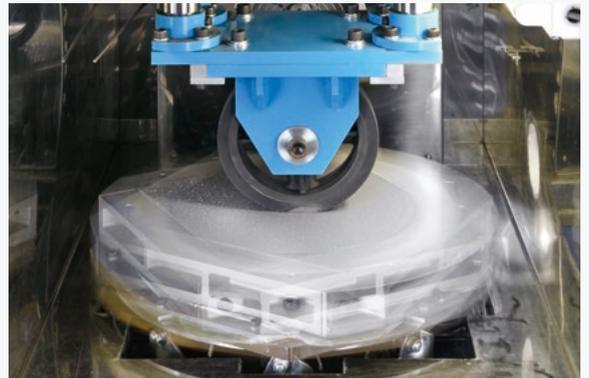
リムスプレーAD工法に使用するV-3000は、硬度・強度が極めて高く、摩耗量が少ない防水工法と考えられます。大型自動車が繰り返し走行する床に不可欠な耐摩耗性能を発揮します。

■繰返しすえ切り試験（耐摩耗性）

試験方法：繰返しすえ切り試験
 試験機：ニッケン株式会社製 フレッシングマシン
 試験体寸法：300mm×300mm（下地：スレート板）
 角度/回数：180度正・逆転/計650回
 回転数：20rpm
 輪荷重：0.69kN
 圧力計：0.70MPa

【試験結果】

| 工法名 | 試験後の状況 |
|-----------|-------------|
| AD-VV45CR | 防水層の浮き、剥離なし |
| AD-VV35CR | |
| AD-VV30CR | |



車両タイヤによる摩耗、すえ切りやカーブで生じる摩擦を想定し、防水層の剥離などの有無を確認する試験。

Point!

リムスプレーAD工法は、タイヤとの摩擦による防水層のはがれに強い防水工法と考えられます。ハンドルの切り返しやすえ切りなどに対して、優れた耐久性を発揮します。

2 荷役作業に強い!



荷役作業を行う現場の床は、常に強い衝撃に晒されます。
 リムスプレーAD工法は、落下物の衝撃や繰り返される荷重にも強さを発揮。誤って荷物を落としたり、荷置きを繰り返したりしても、防水層へのダメージを最小限に抑えます。

■落球試験 (耐衝撃性)

試験方法：塗り床の衝撃強さ試験 (NNK-002-2020 準拠)
 試験体寸法：300mm×300mm (下地：コンクリート板)
 鋼球：1.0kg
 落球の高さ：1.0m

【耐衝撃区分】 落球回数による衝撃強さの区分

| 衝撃区分 | 落球回数 | 衝撃強さの程度 | 試験体の状態評価 |
|------|------|---------|----------------|
| A | 10以上 | 非常に高い | ひび割れ、浮き、はがれない |
| B | 5~9 | 高い | |
| C | 1~4 | ある | |
| D | 1 | ない | ひび割れ、浮き、はがれがある |

【試験結果】

| 工法名 | 耐衝撃区分 |
|-----------|----------------------------------|
| AD-VV45CR | 衝撃区分 A 10回で、防水層のひび割れ、浮き、はがれなし |
| AD-VV35CR | |
| AD-VV30CR | |



落下した荷物の衝撃を想定し、落球による防水層の浮き、ひび割れ、はがれの有無を確認する試験。

Point!

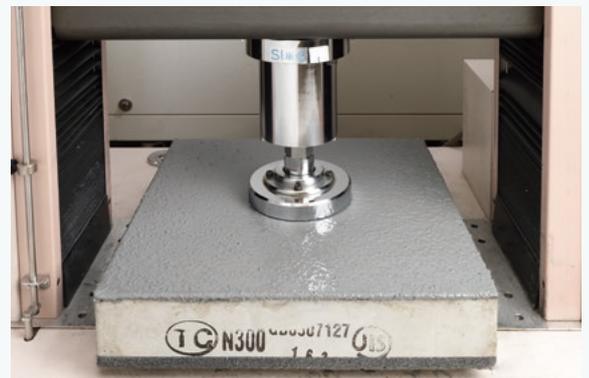
リムスプレーAD工法は、荷物などの硬いものを所定の位置から落しても、防水層への影響がほとんどないと考えられます。強靱な防水層を形成し、落下物に対して、優れた耐久性を発揮します。

■圧縮疲労試験 (耐久性)

試験方法：圧縮疲労試験 (自社試験)
 試験体寸法：300mm×300mm (下地：コンクリート板)
 圧縮荷重：2.4MPa
 圧縮速度：50mm/分
 繰り返し圧縮回数：10万回

【試験結果】

| 工法名 | 試験後の状況 |
|-----------|-----------------------|
| AD-VV45CR | 異常なし (防水層の破断、亀裂なし) |
| AD-VV35CR | |
| AD-VV30CR | |

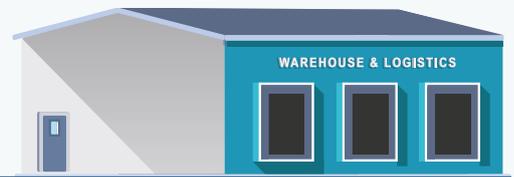


往來する大型貨物自動車などの荷重を想定し、繰り返し圧縮荷重を与えて防水層の破断や亀裂の有無を確認する試験。

Point!

リムスプレーAD工法は、繰り返される圧縮荷重にも強い防水工法と考えられます。防水層に負荷がかかる荷置きの繰り返しに対しても、優れた耐久性を発揮します。

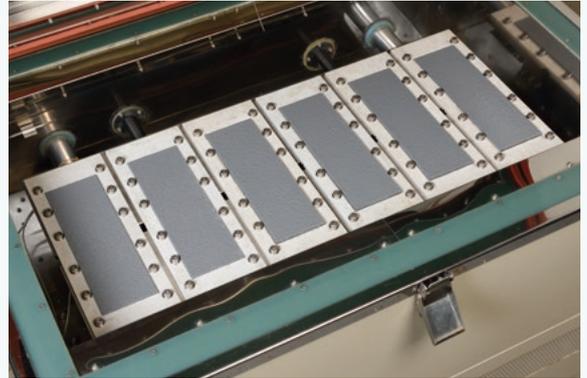
3 建物の動きに強い！



建物は、車両による震動、強風、地震など、さまざまな要因により、絶えず揺れ動いています。リムスプレーAD工法は、そのような建物の挙動に対して、強い耐久性を発揮。コンクリート下地に避けられないひび割れ（クラック）に対しても、優れた追従性を誇り、防水層の破断を防ぎます。

■疲労試験（耐久性）

試験方法：疲労試験（JASS8 T-501-2014 準拠）
 試験機：株式会社インテスコ製 疲労試験機
 試験体寸法：スレート板 150mm×400mm（塗布面積：100mm×300mm）
 周期：3分/回（○につき500回行う）



挙動が生じる伸縮目地やひび割れなどの下地を想定し、繰り返し挙動を与えて防水層の耐久性を確認する試験。

【試験工程】

| 工程 | ムーブメント (mm) | ステップ1 | ステップ2 | ステップ3 |
|----|-------------|-----------|-------|--------|
| | | 温度20℃ | 温度60℃ | 温度-10℃ |
| 1 | 0.5⇔1.0 | ○ → ○ → ○ | | |
| 2 | 1.0⇔2.0 | ○ ← ○ → ○ | | |
| 3 | 2.5⇔5.0 | ○ ← ○ → ○ | | |

【試験結果】

| 工法名 | 疲労区分 |
|------------|-------------------|
| AD-VV45CR | 疲労A4 (防水層破断なし) |
| AD-VV35CR | |
| AD-VV30CR | |
| 立上り-VV20CR | |

【疲労区分】

疲労A1：工程1で1体でも破断した場合
 疲労A2：工程2で1体でも破断した場合
 疲労A3：工程3で1体でも破断した場合
 疲労A4：工程3で3体とも破断しなかった場合

Point!

リムスプレーAD工法は、繰り返される下地の挙動に強い防水工法と考えられます。硬度・強度だけでなく、伸張性にも優れた防水層が建物の動きに追従することで、破断を防ぎます。

■ゼロパンテンション試験（下地ひび割れ追従性）

試験方法：下地ひび割れ抵抗性試験（住宅都市開発機構 参考）自社試験
 試験機：株式会社エー・アンド・デイ製 引張試験機 RTC-1310A
 試験体寸法：スレート板 150mm×400mm（塗布面積：100mm×300mm）
 引張速度：5mm/分



コンクリートに生じるひび割れを想定し、防水層の追従性を確認する試験。

【試験結果】

| 工法名 | 下地ひび割れ幅 |
|------------|-----------|
| AD-VV45CR | 20mmで破断せず |
| AD-VV35CR | |
| AD-VV30CR | |
| 立上り-VV20CR | |

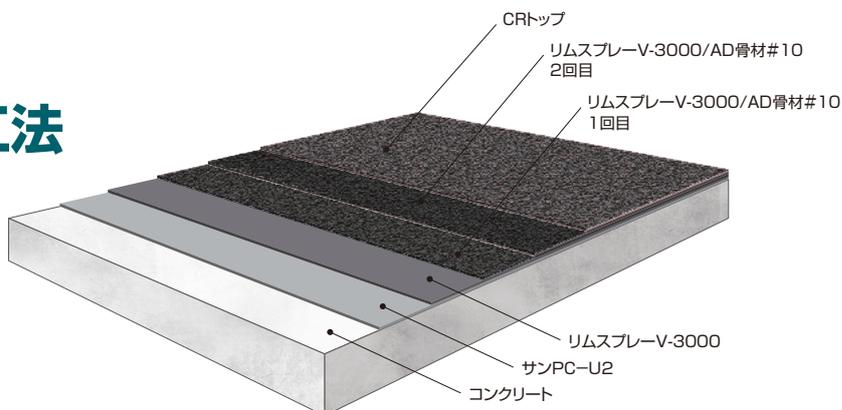
Point!

リムスプレーAD工法は、下地に発生するクラックに強い防水工法と考えられます。下地のひび割れに対しても優れた追従性を発揮し、防水層の破断を防ぎます。

大型自動車 対応

適用範囲：車両総重量36トンまでを目安とします。

リムスプレー AD-VV45CR工法



| 工程 | 使用材料 | 使用量/m ² |
|--------------|-----------------------|--------------------|
| 1. プライマー | サンPC-U2 | 0.2kg～* |
| 2. 防水層 | リムスプレー-V-3000 | 2.5kg |
| 3. 防滑層 (1回目) | リムスプレー-V-3000/AD骨材#10 | 1.0kg/0.4kg |
| 4. 防滑層 (2回目) | リムスプレー-V-3000/AD骨材#10 | 1.0kg/0.4kg |
| 5. 保護仕上材 | CRトップ | 0.2～0.3kg |

※下地の状況により塗布量は異なります。
仕上げオプションとして、ゼブラ仕上げまたは防滑層増し吹きがあります。
防滑層増し吹きをした場合、工法名は『AD-VV55CR (防滑層増し吹き)』となります。

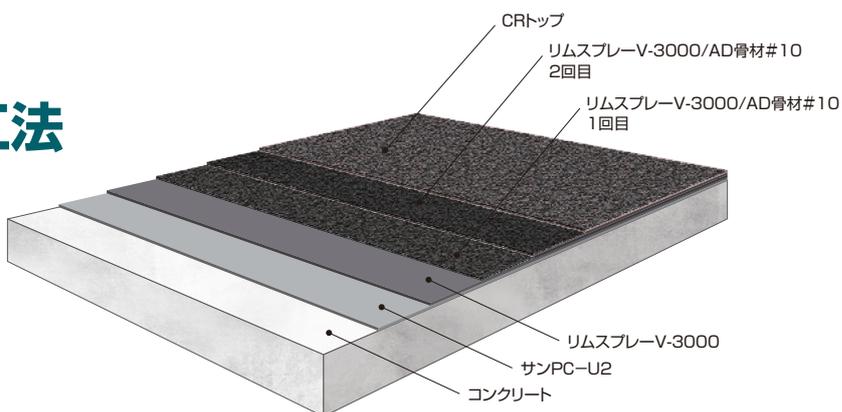
注意事項

- ・下地の状態や種類によって選定するプライマーが異なります。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ (#100) を必要に応じてご使用ください。規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ (#100) を省略することができます。
- ・入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち (10mm程度) してください。
- ・保護仕上材は、目的や用途に応じたものを選定ください。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

中型自動車～大型自動車 対応

適用範囲：車両総重量25トンまでを目安とします。

リムスプレー AD-VV35CR工法



| 工程 | 使用材料 | 使用量/m ² |
|--------------|-----------------------|--------------------|
| 1. プライマー | サンPC-U2 | 0.2kg～* |
| 2. 防水層 | リムスプレー-V-3000 | 1.5kg |
| 3. 防滑層 (1回目) | リムスプレー-V-3000/AD骨材#10 | 1.0kg/0.4kg |
| 4. 防滑層 (2回目) | リムスプレー-V-3000/AD骨材#10 | 1.0kg/0.4kg |
| 5. 保護仕上材 | CRトップ | 0.2～0.3kg |

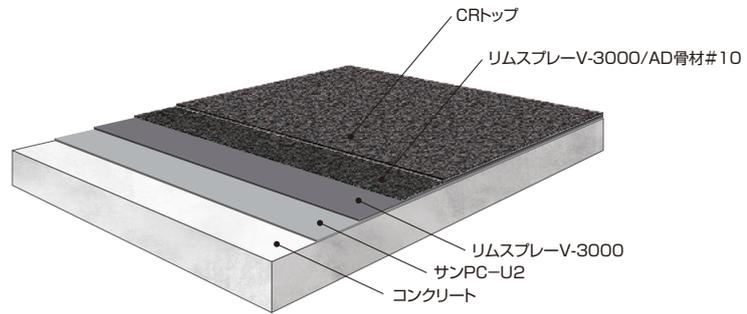
※下地の状況により塗布量は異なります。
仕上げオプションとして、ゼブラ仕上げまたは防滑層増し吹きがあります。
防滑層増し吹きをした場合、工法名は『AD-VV45CR (防滑層増し吹き)』となります。

注意事項

- ・下地の状態や種類によって選定するプライマーが異なります。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ (#100) を必要に応じてご使用ください。規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ (#100) を省略することができます。
- ・入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち (10mm程度) してください。
- ・保護仕上材は、目的や用途に応じたものを選定ください。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

普通自動車～準中型自動車 対応

リムスプレー AD-VV30CR工法



| 工程 | 使用材料 | 使用量/m ² |
|----------|----------------------|--------------------|
| 1. プライマー | サンPC-U2 | 0.2kg～* |
| 2. 防水層 | リムスプレーV-3000 | 2.0kg |
| 3. 防滑層 | リムスプレーV-3000/AD骨材#10 | 1.0kg/0.4kg |
| 4. 保護仕上材 | CRトップ | 0.2～0.3kg |

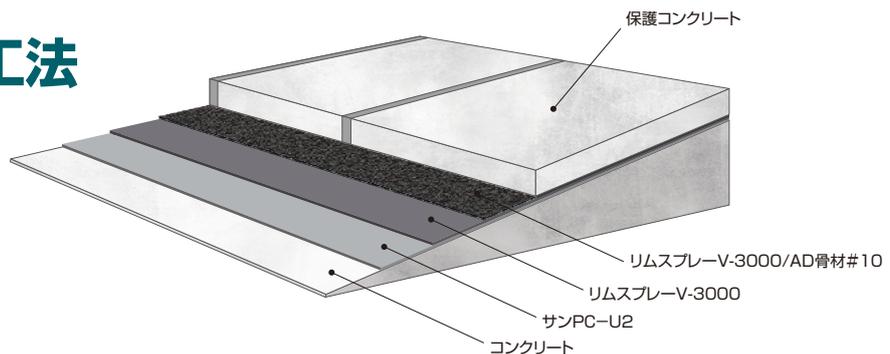
※下地の状況により塗布量は異なります。
仕上げオプションとして、ゼブラ仕上げまたは防滑層増し吹きがあります。
防滑層増し吹きをした場合、工法名は「AD-VV40CR (防滑層増し吹き)」となります。

注意事項

- ・下地の状態や種類によって選定するプライマーが異なります。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ (#100) を必要に応じてご使用ください。規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ (#100) を省略することができます。
- ・入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち (10mm程度) してください。
- ・保護仕上材は、目的や用途に応じたものを選定ください。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

スロープ保護コンクリート仕様

リムスプレー ADS-VV30H工法



| 工程 | 使用材料 | 使用量/m ² |
|----------|----------------------|--------------------|
| 1. プライマー | サンPC-U2 | 0.2kg～* |
| 2. 防水層 | リムスプレーV-3000 | 2.6kg |
| 3. 防滑層 | リムスプレーV-3000/AD骨材#10 | 0.4kg/0.8kg |
| 4. 保護層 | 保護コンクリート | 別途工事 |

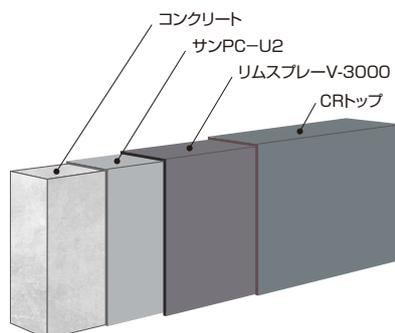
※下地の状況により塗布量は異なります。

注意事項

- ・スロープ保護コンクリート仕様に関連する副資材、コンクリート打設は別途工事になります。ご注意ください。
- ・スロープ保護コンクリート仕様の場合、ウレタン防水層の露出部立上りは必ず保護仕上材を塗布してください。
- ・下地の状態や種類によって選定するプライマーが異なります。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ (#100) を必要に応じてご使用ください。規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ (#100) を省略することができます。
- ・入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち (10mm程度) してください。
- ・保護仕上材は、目的や用途に応じたものを選定ください。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

共通立上り仕様

リムスプレー 立上り-VV20CR工法



| 工程 | 使用材料 | 使用量/m ² |
|----------|--------------|--------------------|
| 1. プライマー | サンPC-U2 | 0.2kg～* |
| 2. 防水層 | リムスプレーV-3000 | 2.0kg |
| 3. 保護仕上材 | CRトップ | 0.2kg |

※下地の状況により塗布量は異なります。

注意事項

- ・下地の状態や種類によって選定するプライマーが異なります。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ (#100) を必要に応じてご使用ください。規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ (#100) を省略することができます。
- ・入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち (10mm程度) してください。
- ・保護仕上材は、目的や用途に応じたものを選定ください。詳細はリムスプレー総合カタログをご参照ください。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

施工オプション

■下地処理オプション【ウレタン防水材料しこき塗り】

施工方法

プライマー硬化後、手塗りウレタン防水材料 (サラセーヌK・サラセーヌ立上り用など) を0.5～1.0kg/m²程度しこき塗ります。

目的

ピンホールの抑制や下地凹凸の低減、吹付けまでの間隔の延長などの効果があります。

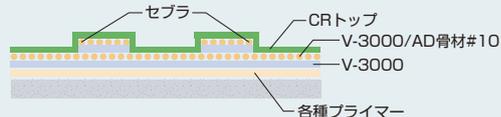
■仕上げオプション【ゼブラ仕上げ】

施工方法

防滑層施工後、ゼブラ仕上げの施工面に養生を行い、V-3000を1.5kg/m²吹付けた後、さらにV-3000を1.0kg/m²とAD骨材#10を0.4kg/m²吹付けます。

目的

車両の滑り低減、走行が激しい箇所の摩耗低減、スピード超過の抑制などの効果があります。



■仕上げオプション【防滑層増し吹き】

施工方法

規定の防滑層吹付け後、さらにV-3000を1.0kg/m²とAD骨材#10を0.4kg/m²増し吹きします。

目的

車両の滑り低減、走行が激しい箇所の摩耗低減などの効果があります。

■施工管理オプション【防水層と防滑層の色替え】

施工方法

硬化剤に添加するリムトナー色 (グレー・オオド・ライトグリーン) を変更し、防水層と防滑層に分けて吹付けます。

目的

工程管理、車両の走行による摩耗状態の把握、補修時期の目安などの効果があります。

施工条件

共通事項

1. 配管および配線が防水施工に支障がないこと。
 - ・防水施工範囲における配管および配線の設置工事は防水施工後にするか、施工に支障がない段階で行うこと。
 - ・防水層を貫通する配管や配線は可能な限り避けること。止むを得ず設置する場合は防水施工に支障がない位置で行い、スリーブを使用してさらに手塗りウレタン+補強用クロスによる増し塗り、または超速硬化ウレタンスプレー（リムスプレー）による塗り掛けの確保を100mm以上（推奨値）行うこと。なお、スリーブは完全に固定すること。
2. 超速硬化リムスプレーの施工環境が確保できていること。
 - ・施工範囲とヒーターホースの全長（およそ90m前後）を勘案し、システム車両と防水材（ドラム缶）の設置場所を確保すること。
 - ・仮設足場は屋根の床面から1800mm以上の高さを確保すること。

施工前の下地の状態

1. 下地の乾燥が十分であること。
 - ・下地打設後の養生期間（新築の場合）

| 下地 | 養生期間の目安 |
|--------|----------|
| コンクリート | 打設後3週間以上 |

※冬期においては倍の養生が必要

下地構成や天候により養生期間が左右されるため、以下の方法で十分に乾燥しているかを確認すること。

- ・ケット水分計で含水率が5%以下であることを目安とする。
- ※含水率が低い場合でも気温が上昇するときは、水蒸気の突き上げがあるので注意すること。

2. 下地の強度が十分であること。

〈新築時〉

- ・ひび割れの少ない下地となるようなコンクリートに調合し、適切な配筋を行うこと。
- ・現場打ちコンクリートは設計基準を満たしていること。
- ・降雨・降雪でコンクリート打設を行い、十分な強度が確保できない場合は、脆弱部を撤去し、コンクリートを打ち直しなどの処置にて強度を確保させること。
- ・付着性を阻害するコンクリート表面のレイタンスやエフロレッセンス、脆弱部は、横回転式研削機（ダイヤモンドカッター）で必ず研磨・研削すること。

〈改修時〉

- ・付着性を阻害するコンクリート表面のレイタンスやエフロレッセンス、脆弱部は、横回転式研削機（ダイヤモンドカッター）で必ず研磨・研削すること。
- ・付着性確保のため、強化コンクリートは、横回転式研削機（ダイヤモンドカッター）で必ず研磨・研削すること。
- ・付着性の弱い既存塗膜（ウレタン、FRP、塗料など）は、必ず撤去すること。撤去後、付着性を阻害するコンクリート表面のレイタンスやエフロレッセンス、脆弱部は、横回転式研削機（ダイヤモンドカッター）で必ず研磨・研削すること。
- ・コンクリートの表面強度は、引っかき試験機で加圧力1.0kgfによる傷幅が0.6mm以下を参考とする。

- ・既存塗膜に吹付ける場合は、事前に建研式引張試験器で既存塗膜の付着力を確認することをおすすめする。良好な付着力は、1.0N/mm²以上を目安とする。

3. 表面を平滑にすること。

- ・平表面は、著しく段差や目違い、欠損がなく平滑であること。段差や目違いがある場合は、横回転式研削機（ダイヤモンドカッター）またはカップサンダーなどで必ず研磨・研削すること。欠損部は、ウレタンモルタルで補修すること。なお、下地の不陸（凹凸）を調整する場合は、ポリマーセメントモルタルなどの下地調整材は使用せず、手塗りウレタン防水材を0.5~1.0kg/m²程度しごき塗りすること。

4. 伸縮目地

- ・既存目地材を撤去後、新たにバックアップ材を伸縮目地へ装填し、ウレタンシーリング材を充填する。伸縮目地の補強のため、補強用クロス（100mm幅以上）をしわのないように下地に貼付け、手塗りウレタン防水材（サラセーヌ立上り用など）を増し塗りする。

※保護コンクリートの場合は、車両の走行や人の歩行に配慮し、脱気装置を連通した伸縮目地2本に対し、1箇所以上の割合で取り付ける。（推奨）

5. ひび割れ（クラック）処理

- ・Uカット後、ウレタンシーリング材を充填し、平滑にする。
- ・ひび割れ幅の大きい場合は、UカットまたはVカット後、ウレタンシーリング材を充填し、ウレタンシーリング材硬化後、ひび割れ（クラック）補強のため、補強用クロス（100mm幅以上）をしわのないように下地に貼付け、手塗りウレタン防水材（サラセーヌ立上り用など）を増し塗りする。

6. 出隅・入隅の処理

- ・出隅の面取りを確認する。不十分な場合は、電動サンダーなどで出隅の面取りし、入隅は通りよく直角とする。
- ・膜厚確保が難しい出隅は、必要に応じて補強用クロスまたはクロステープ（#100）をしわのないように下地に貼付け、手塗りウレタン防水材（サラセーヌ立上り用など）を増し塗りする。入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材を三角打ち（10mm幅程度）する。

7. 下塗り処理（推奨）

- ・下地コンクリートのピンホール対策、雨養生、付着力向上などのために、プライマー塗布乾燥後、手塗りウレタン防水材「サラセーヌK」などを0.5~1.0kg/m²塗布することをおすすめする。

8. 施工箇所の区分け

- ・現場状況に応じて、各工程が1日で終わる範囲に区分けして施工すること。次工程を翌日に施工できるように配慮してください。

製品一覧

| | 品名 | 荷姿 | | 消防法関係 | | 特長・用途 | |
|-------------|----------------|-----|-----|------------------------|-------------|--|---|
| | | | | 危険物区分 | 液比重 | | |
| プライマー | サンPC-U2 | 缶 | 主剤 | 9kg | 4類1石 (非水溶性) | 1.28 | 溶剤型 エポキシ変性ウレタン系 金属下地用 (2種ケレン)、 コンクリート用プライマー 主剤：硬化剤=1：1 |
| | | | 硬化剤 | 9kg | 4類1石 (非水溶性) | 0.98 | |
| | サンPC | 缶 | 1成分 | 16kg | 4類1石 (非水溶性) | 1.00 | 溶剤型ウレタン系ウレタン下地用 プライマー |
| | サンPC-PS | 缶 | 1成分 | 15kg | 4類1石 (非水溶性) | 0.90 | ウレタン系溶剤型保護仕上材用層間 プライマー |
| ウレタン防水材 | リムスプレー-V-3000 | ドラム | 主剤 | 200kg | 4類4石 | 1.12 | JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形 認証製品 主剤：硬化剤=1：1 |
| | | | 硬化剤 | 182kg | 4類3石 (非水溶性) | 1.02 | |
| | | 缶 | 主剤 | 18kg | 4類4石 | 1.12 | |
| | | | 硬化剤 | 17kg | 4類3石 (非水溶性) | 1.02 | |
| | リムトナー | 缶 | 1成分 | 8kg | 4類4石 | 1.61 | リムスプレー (ドラムセット用) 着色剤 |
| | | | 1成分 | 0.8kg | | | リムスプレー (35kg缶セット用) 着色剤 |
| | サラセーヌK | 缶 | 主剤 | 8kg | 4類4石 | 1.06 | 平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形 平場用認証製品 主剤：硬化剤=1：2 |
| | | | 硬化剤 | 16kg | 指定可燃物可燃性液体類 | 1.60 | |
| | サラセーヌ立上り用 | 缶 | 主剤 | 8kg | 4類4石 | 1.06 | 立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形 立上り用認証製品 主剤：硬化剤=1：2 |
| | | | 硬化剤 | 16kg | 指定可燃物可燃性固体類 | 1.60 | |
| サラセーヌSB立上り用 | 缶 | 1成分 | 5kg | 指定可燃物可燃性固体類 | 1.32 | 立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形 立上り用認証製品 | |
| 保護仕上材 | CRトップ | 缶 | 主剤 | 6kg | 4類2石 (非水溶性) | 0.95 | 溶剤型アクリルウレタン系保護仕上材 主剤：硬化剤=2：3 |
| | | | 硬化剤 | 9kg | 4類2石 (非水溶性) | 1.17 | |
| 副資材 | ウレタン希釈剤 | 缶 | 1成分 | 16L | 4類2石 (非水溶性) | 0.87 | ウレタン防水材専用希釈剤 |
| | ウレタン硬化促進剤 | 缶 | 1成分 | 4kg | 4類2石 (非水溶性) | 1.11 | ウレタン防水材用硬化促進剤 |
| | 1液防水材専用硬化促進剤 | 缶 | 1成分 | 450ml×9本 | 4類1石 (非水溶性) | 0.89 | 1液防水材専用硬化促進剤 |
| | AD骨材#10 | 袋 | — | 25kg | — | — | 駐車場工法用黒灰色セラミック系骨材 (平均粒径0.3~1.7mm) |
| | TKパウダー | 缶 | — | 5kg | — | — | ウレタン防水材用増粘剤 |
| | SRステンレスベント | 箱 | — | 2個 | — | — | 脱気装置 (逆流防止弁付き脱気筒) |
| | サラセーヌSUS304脱気筒 | 箱 | — | 2個 | — | — | 脱気装置 (脱気筒) |
| | SRパラベント | 箱 | — | 10個 | — | — | 脱気装置 (逆流防止弁付き脱気盤) |
| | サラセーヌ立上り用脱気盤 | 箱 | — | 5枚 | — | — | 脱気装置 (立上り用脱気盤) |
| | サラセーヌクロス#2000 | 包 | — | 幅1m×長さ100m | — | — | ガラス繊維織布 補強張り用クロス (平場用および立上り部用) |
| | サラセーヌクロス#4000 | 包 | — | 幅1m×長さ50m | — | — | ポリエステル繊維織布 補強張り用クロス (平場用および立上り部用) |
| | サラセーヌクロス#4100 | 箱 | — | (幅100mm× 長さ50m)×10巻 | — | — | ポリエステル繊維織布 補強張り用クロス (クラック・出入隅など) |
| | クロステープ#100 | 箱 | — | (幅100mm× 長さ50m)×4巻 | — | — | 自着層付きガラス繊維織布 補強張り用クロス (クラック・出入隅など) |

AGC ポリマー建材株式会社

首都圏支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴人形町ビル) TEL:03-6667-8421
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10(セントールビル) TEL:022-299-6371
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25(日本生命広小路ビル) TEL:052-219-5491
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3(高六大阪ビル) TEL:06-6606-9910
九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10(第7グリーンビル) TEL:092-431-5154
北海道出張所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目(株式会社三田商店内) TEL:011-241-5120



公式サイトへはこちらから

